



インスピレーションになるろう

RI 会長テーマ

2018~2019 年度

大船渡西ロータリークラブ会報

# 七福人



会 長 浜田 浩誠

副会長 木下 彰則

幹 事 菅野 嘉洋

＝会長指針＝

初心を忘れず、寛容の心で

よりよい奉仕を進めよう

## ．．． 例 会 記 録 ．．．

9月第2週例会 2018年 9月13日(木)

ソング : 我らの生業 ボックス : 33,000円 (報告者 大西竜介会員)

本日出席率 : 69.23% 前回修正後100% (メンバー21名) (報告者 古内一二会員)

## ◆◆◆ 入 会 式 ◆◆◆



鳥井絹氏さん 1976年5月生まれ 勤務先 旅館 とりい荘  
青年会議所在籍中いろいろな役職を経験

鳥井さん: 場違いな気もしますが、皆さんと一緒にやっていきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

### ★会長の時間 浜田浩誠会長



まずは、鳥井さん入会おめでとうございます。最初はなかなか出席しづらいですが、これも慣れが必要です。直ぐになれるのでまずは、出席することが一番ですので宜しくお願いいたします。これからロータリーを楽しんで頂けると幸いです。

また、11日に東高校で就職面接模擬試験がありましたが、各企業から面接官としてご協力頂き誠にありがとうございました。

特に、そこに至るまでの諸準備をして頂いた、菅野幹事、新沼職業奉仕委員長、藤丸青少年委員長には、感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

さて、ここ数年の自然災害で電気や水、ガスのライフラインの供給が話題になることがあります。東日本大震災の時にも大変苦労し、現在でも西日本、北海道でも大変な事になっているようです。そこで今日は、その中でも一番に考えなければならない水の確保についてお話ししたいと思います。生活するためには、電気は、一週間程度あれば無くても大丈夫ですが水はそんなわけにはいきません。

地球の表面の7割程度は海水で満たされていますので、これを飲み水として使用できれば水不足など起きないはずですが、しかし、海水は飲み水にできません。なぜでしょう？

人間が生きるためには、適切な浸透圧が必要です。浸透圧について話をすると長くなるので省略しますが、最終的には、水分を確保するために尿が出ない状態になってしまいます。こうなると体内に溜まった毒素を排出することができず、生命は危険な状態になってしまいます。そのため、喉がかわいても海水を飲んではいけません。つまり、海水は人間にとって欠かせない水資源とはいえないということです。淡水がいかに貴重なものであるか、水資源を大切にすることがいかに大事かが理解できると思います。

人間の生活用水は、もともとは雨水です。雨水を蓄えた湖や山林から流れてくる淡水の川などから取水されています。そして、この雨水は、上水道施設によって水道水に変えられ、各家庭に送られています。

では、水道水と雨水では硬度などの成分が違うのでしょうか？実は、雨水は水道水と比較するとかなり硬度が低いといわれています。硬度とはカルシウムやマグネシウムの量を指します。この硬度が高いと硬水、低ければ軟水と呼ばれます。つまり、雨水は超軟水といえるのです。カルシウムやマグネシウムなどのミネラル分

が水道水に含まれるのは、雨がいったん山林などに降り、岩石などからミネラルを吸収するからです。雨水自体は、海から蒸発したいわば蒸留水ですから、ミネラル分などはほとんど含まれていません。そのため、雨水は超軟水になるのです。ただし、雨が降り始めた初期の水には不純物が多く含まれているため、超軟水とまではいえないようですが、降り始めからしばらくたった雨水は、蒸留水に似たきれいな水質の水です。

海水を飲み水に変えることができれば、水不足は一気に解消できます。しかし、日本はそこまでしなくても十分な水資源がありますので、海水を飲み水に変えることはほとんど行われていません。

しかし、中東などあまり雨が降らず水資源が不足している国では、海水を淡水に変えて、飲み水などの生活用水を確保している国があります。逆浸透の海水淡水化技術などの進歩によってそれが可能になってきているのです。特殊な膜を使用して塩分を除去するこの技術の進歩には日本企業（東レ等）も貢献しています。中東などには、海水淡水化の巨大プラントが建設され、そこに住む人の貴重な水資源の確保に利用されています。世界中の海水淡水化プラントの約3分の2が中東にあるともいわれていますので、いかに水資源の確保が大変な地域であるかがわかるでしょう。また、近代になって水が不足してきた原因は、人口増加や経済の発展により水の消費量が増加したことにも原因があるようです。淡水化による水資源の確保と同時に、節水の意識や技術革新も大切だといえるでしょう。

補足ですが海水を真水に変えるものもたくさん出回っています。

但し、値段分で一日400ℓ処理できるもので70万前後。400ℓが多いか少ないかは使い方にもよりますが1時間でポリ缶満タンには出来ません。1時間に100ℓ作りたければ300万です。

これらには、電源が必要になるのでプラスアルファとなります。

又、手動タイプの物もありますが本当の緊急用でコップ一杯作るのに苦労しそうです。また、個人で準備するとなると非常用でしか使われなれないと思います。フィルターの交換等大変なので非常用にペットボトルの数本は、常備しておいた方が良いでしょう！

## ◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

- 1 ガバナー事務所より ほっかいどういぶり 北海道胆振東部地震による災害義援金のお願いが届いています。  
金額 3,000円×会員数 締切り 10月31日
- 2 白石ロータリークラブより 創立60周年記念式典の案内が届いています。  
日時 11月17日(土) 15時30分～ 場所 ベネシアンホテル白石蔵王  
登録料 15,000円 締切り 10月12日
- 3 盛岡北ロータリークラブより 創立60周年記念式典の案内が届いています。  
日時 10月28日(日) 14時～ 場所 ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング  
登録料 10,000円 締切り 9月30日

## ◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆

### 職業奉仕アワー : 新沼達央職業奉仕委員長卓話



先日の東高校の模擬面接に参加頂き感謝。改めて御礼申し上げます。  
改めてロータリーの資料を学習する機会を頂き、職業奉仕を理解する過程で自分なりの所感を中心に発表致します。

- ①ロータリーの由来・・・ 職場学習をメンバーローテーションで開催
- ②インターアクター(高校在学中の学生または14～18歳の若い人)・ローターアクター(18～30歳の青年男女)の意味 インターアクトクラブとローターアクトクラブ

### ③四つのテスト

根底には、キリスト教社会で生まれた思想があり、途中で宗教観を払拭するもやはりいろんな面で見え隠れしていると感じます。特に否定するわけではありませんが、倫理の前提にその考えが強く影響。寄付行為を含め分け与えること、すべてが平等（神の前という表現はありませんが）。そして奉仕を重要視している点です。

また個人を高めることをベースに社会貢献に邁進するという風に取り取れます。文面では、「各自の職業を高潔なものにする」「一人ひとりが奉仕の理念を実践」などがあります。

「職業奉仕」という概念

「ロータリーの目的」の第2項を土台としています。

- ・ 職業上の高い倫理基準
  - ・ 役立つものはすべて価値あるものという認識
  - ・ 社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする
- この3点を奨励し、育むことがもとめられている。

「役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し・・・」 という一説。

ここでちょっと疑問に思うのは、あえて役立つ仕事と限定している点でした。これは倫理観から外れることは「役立つ仕事」と区別する意味をもち、たとえば当時のマフィア的な暴力的・違法的なものを排除すべきものとしてとらえていたと自分として解釈してみました。

また、第2項の実践の前提に「4つのテスト」の考えがあるということも重要な点です。ということで、例会時に毎回の唱和がある。

一般企業の経営理念と同様な、ロータリーの活動指針の根底にあるものとして理解しました。これは今年で84年目になります。

実践事例には多くあります。

- ① 例会講和は、各自の職業を話すことで、異業種間での学びの場とする。
- ② 地域社会の奉仕プロジェクトに参加・・・ 赤い羽根募金活動
- ③ 若者のキャリア目標支援・・・ 模擬面接もこの一環かと思います。
- ④ 専門能力の開発を奨励し、指導する・・・ 必要な場所に行って技術支援

「四つのテスト」同様に、すべてのロータリアンが指針とできる倫理的行動の枠組みとして、ロータリアンの行動規範があります。

当然、ロータリーの目的とも合致しますが

1. 個人として、また事業において高潔さと高い倫理基準をもって行動
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊敬の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人々を導き、特別なニーズを抱える人々を助け、地域社会や世界中の人々の生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。

このうち、職業スキルについては、「奉仕活動に生かし、自らの職業をクラブで代表するとともに、職場においてロータリーの理念を実践する責務がある。」と少し難しい表現ですが、個人の能力を、奉仕活動にどんどん生かして行動しなさいということかと思います。

また、その考え方を職場でも浸透させて、ロータリー活動への理解を深め、さらにはロータリアン以外の人にもまきこんで、大きな奉仕の輪を広げましょうということかと思います。

非常にスケールの大きな話でもあり、一朝一夕でいくものではなく積み重ね日々の積み重ねでしかありません。

以上